

〔OAP要旨〕

腰椎椎間板ヘルニアに対する 神経根ブロック施行時にステロイド剤は必要か

萩原 義信¹⁾ 雄賀多 聡²⁾ 中馬 敦¹⁾
斉藤 忍¹⁾ 仲澤 徹郎¹⁾ 国司 俊一¹⁾

(2016年1月26日受付, 2016年2月9日受理)

【目的】日本人の腰椎椎間板ヘルニア (LDH) を対象症例とし, 選択的神経根ブロック (SNRB) 施行時, ステロイド剤併用群と併用しない群をつくり, その有効性を visual analog scale (VAS) と present pain intensity (PPI) で検討したので報告する。

【対象および方法】2003年8月より2011年9月まで, 根性疼痛で受診した患者のうち, MRIでLDHを確認し, SNRB施行した118例を対象とした。LDH確認後, 診療番号の偶数・奇数で分類しSNRB施行した。偶数群 ((+) 群): SNRB施行時に局所麻酔剤 (lidocaine hydrochloride) 3 ml とステロイド剤 (dexamethasone) 1 ml (3.3mg) を併用した群。奇数群 (-) 群): SNRB施行時に局所麻酔剤 (lidocaine hydrochloride) 4 mlのみ使用した群。そして①SNRB施行前, ②施行後1時間, ③施行後1日, ④施行後1週間のVASとPPIを比較検討した。

【結果】1) (+) 群のVAS経過は① 5.94 ± 1.96 cm, ② 2.35 ± 1.95 cm, ③ 2.76 ± 1.78 cm, ④ 2.11 ± 2.43 cm。PPI経過は① 2.64 ± 1.04 点, ② 1.03 ± 0.80 点, ③ 1.33 ± 0.71 点, ④ 1.47 ± 0.86 点。2) (-) 群のVAS経過は, ① 5.79 ± 2.48 cm, ② 3.16 ± 2.72 cm, ③ 4.21 ± 2.49 cm, ④ 2.91 ± 2.68 cm。PPI経過は① 2.62 ± 0.99 点, ② 1.50 ± 1.09 点, ③ 1.94 ± 1.00 点, ④ 1.85 ± 1.00 点。3) (+) 群と (-) 群間では施行前・施行後1時間・施行後1週間のVASとPPIの経過に統計学的有意差は存在しなかった。しかし施行後1日のVASとPPIにおいてのみ, (+) 群は (-) 群より有意に成績が良かった。

【考察】施行後1日のVASとPPIにおいてのみ (+) 群は (-) 群より有意に成績が良く, 施行後1週間のVASとPPIでは有意差は認められなかった。従って, ステロイド剤の作用は比較的短期的なものであり, 長期的な治療効果を期待するSNRB施行時には局所麻酔剤とステロイド剤を併用使用する必要はなく局所麻酔剤単独使用で十分ではないかと推察された。

Key words: lumbar disc herniation, selective nerve root block, steroids

Abbreviations: selective nerve root block: SNRB, lumbar disc herniation: LDH, Japanese Orthopaedic Association: JOA, Visual Analog Scale: VAS, Present Pain Intensity: PPI

¹⁾ 独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 東京城東病院整形外科

²⁾ 千葉県立保健医療大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻

Phone: 03-3685-1431. Fax: 03-3637-2739. E-mail: yoshi37919@hotmail.com